

令和5年度障がい者を対象としたアンケートの概要及び結果

(1) アンケート概要

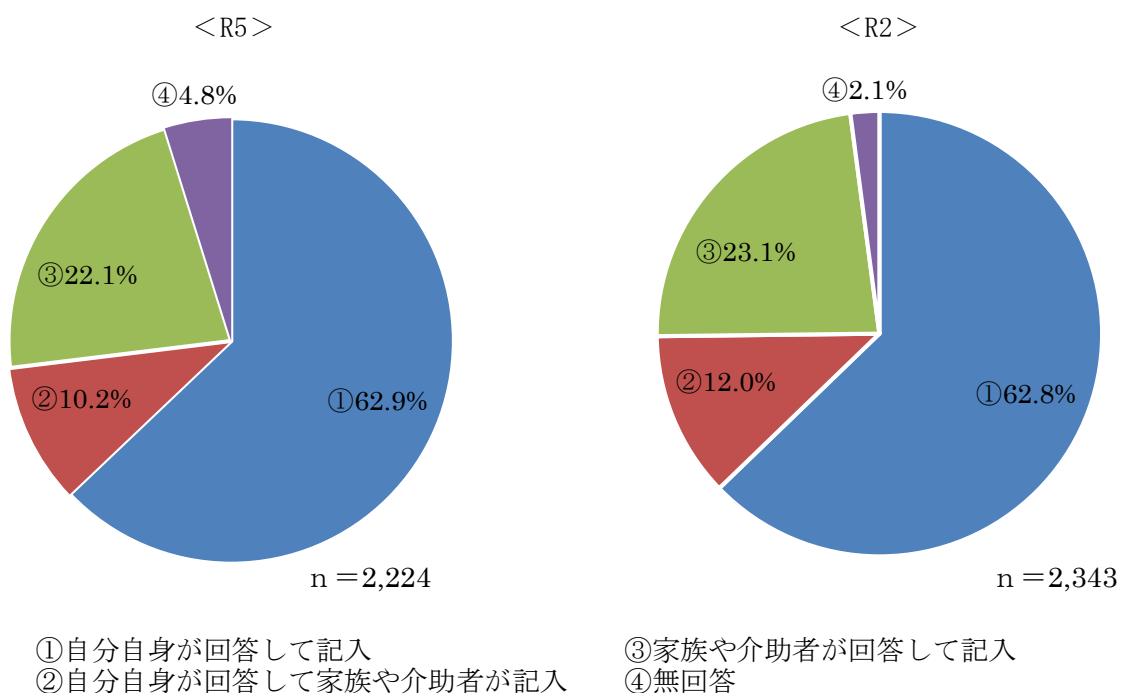
- ・対象者：障がい者手帳所持者等（49,224人）
- ・抽出者：対象者を母数として1割を無作為抽出（4,920人）
- ・期 間：令和5年8月7日～8月28日
- ・方 法：郵送
- ・回収率：45.2%（R2調査：47.2% H29調査：54.2% H26調査：54.4%）
- ・内訳

区分	対象者 (人)	抽出者 (人)	回答数 (人)	回収率 (%)	備考
身体	27,794	2,779	1,308	47.1	身体障害者手帳所持者から抽出
知的	6,051	605	262	43.3	療育手帳所持者から抽出
精神	8,068	806	332	41.2	精神保健福祉手帳所持者から抽出
発達	973	97	35	36.1	JOIN利用者から抽出（※）
難病	6,338	633	287	45.3	特定医療費受給者から抽出
合計	49,224	4,920	2,224	45.2	

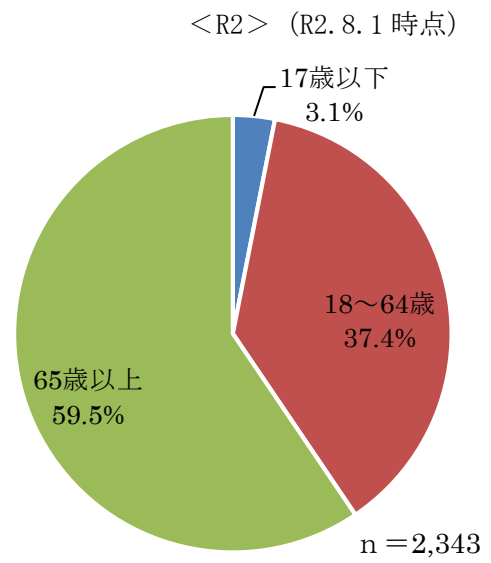
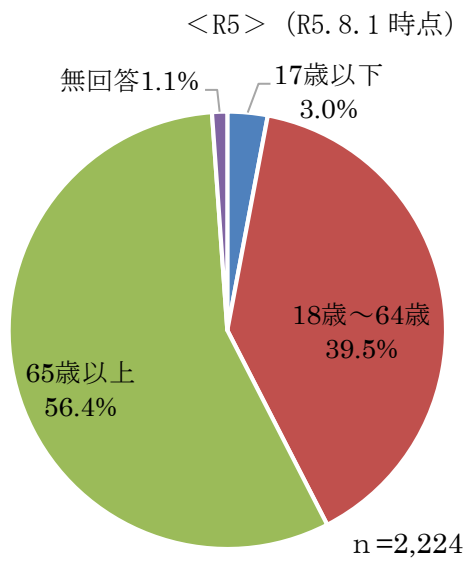
※JOIN（新潟市発達障がい支援センター）の令和4年度利用者から1割を抽出

(2) 項目別回答状況

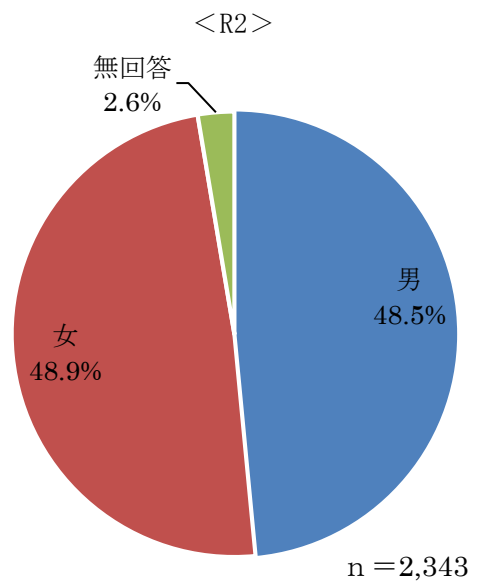
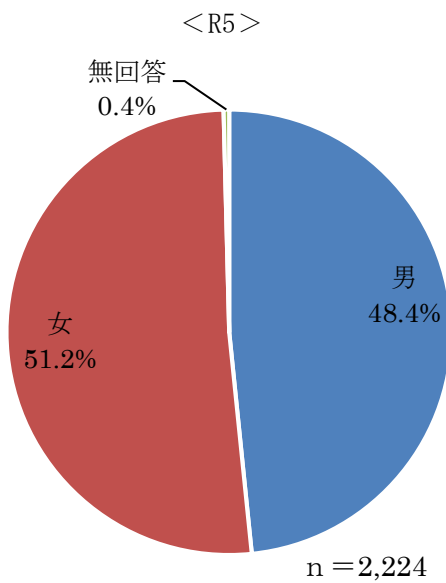
問1 この調査票はどなたが回答と記入をされますか。



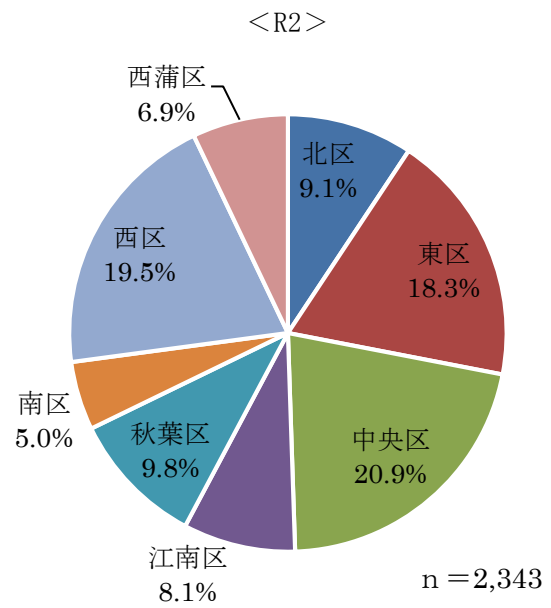
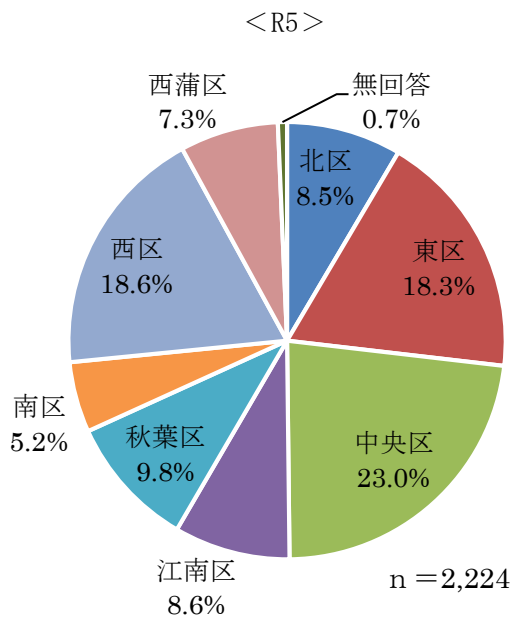
問2 あなたの年齢を教えてください。



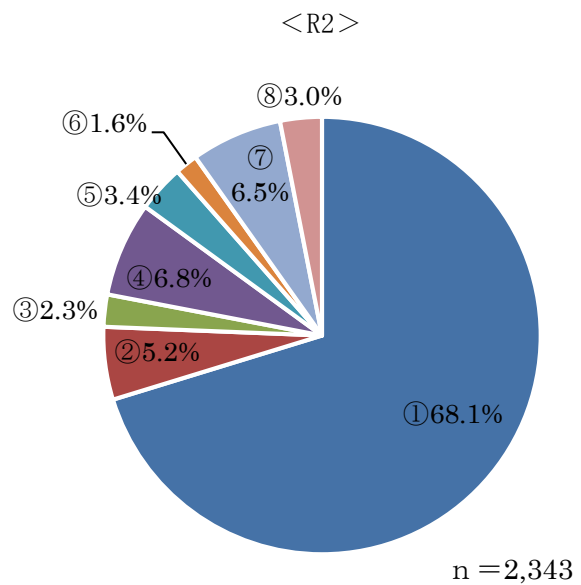
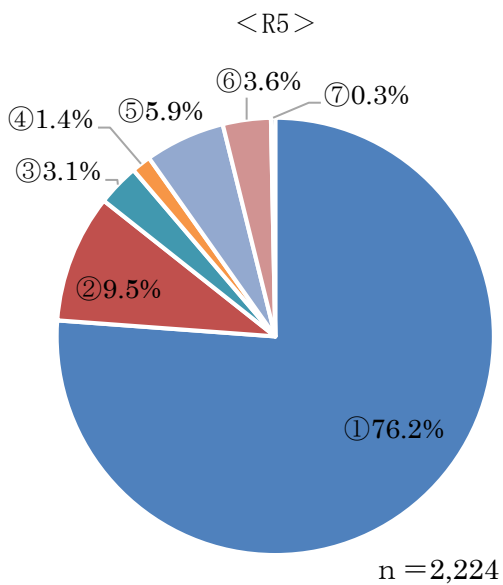
問3 あなたの性別を教えてください。



問4 あなたの現在のお住まいの区はどこですか。



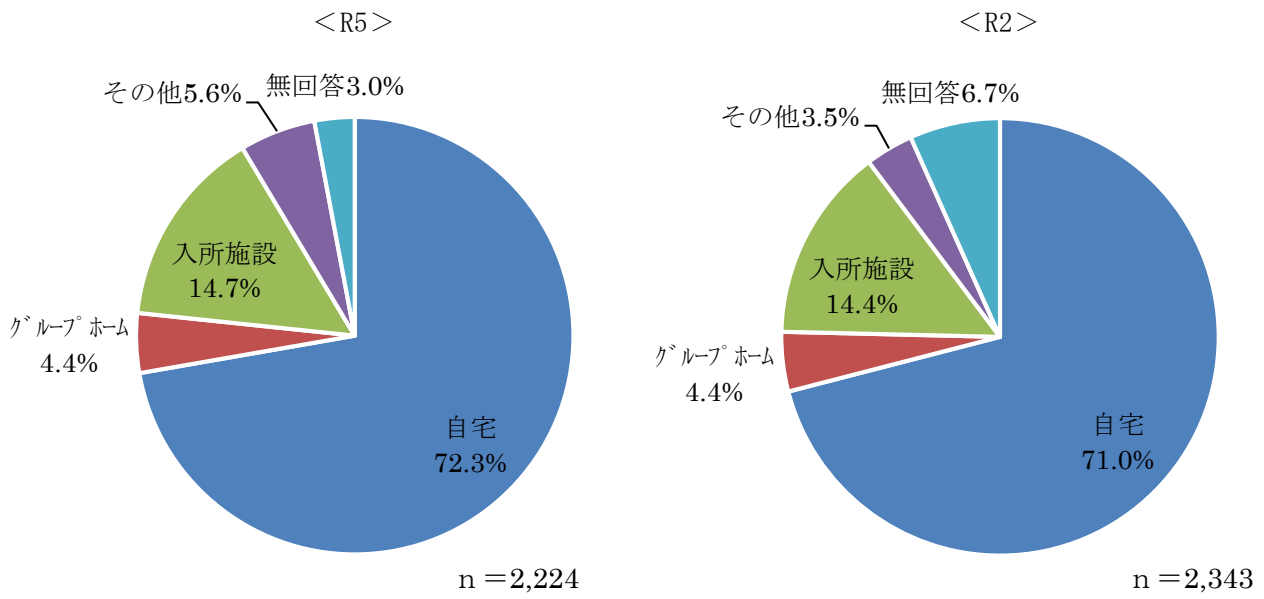
問5 あなたの現在のお住まいは次のどれでしょうか。



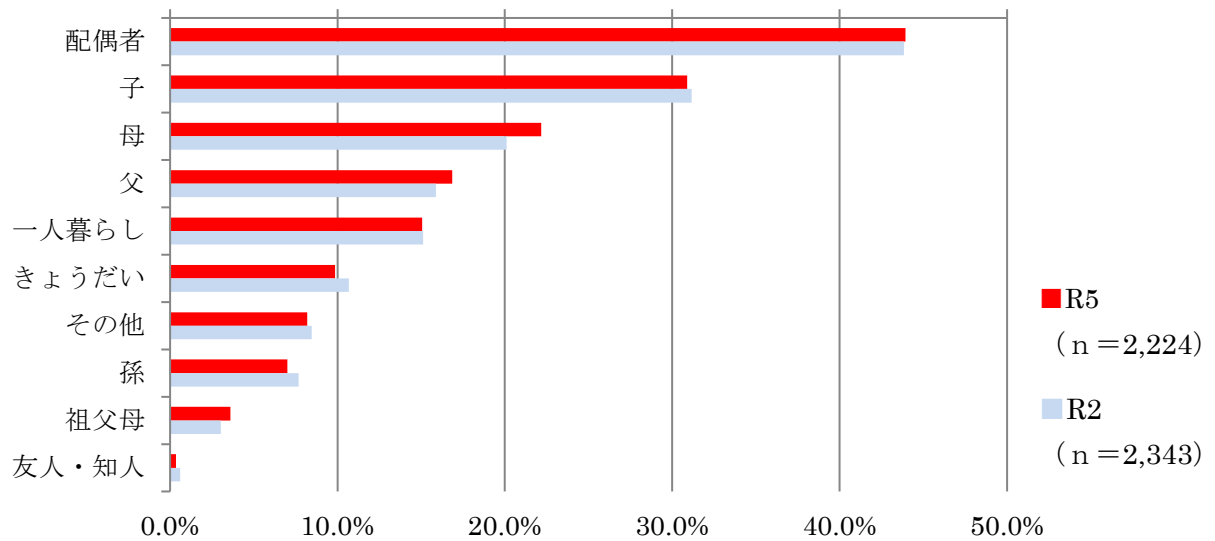
- ①持ち家
- ②民間賃貸住宅
- ③公営住宅
- ④グループホーム
- ⑤入所施設
- ⑥その他
- ⑦無回答

- ①持ち家（戸建）
- ②持ち家（アパート・マンション）
- ③民間賃貸住宅（戸建）
- ④民間賃貸住宅（アパート・マンション）
- ⑤公営住宅
- ⑥グループホーム
- ⑦入所施設
- ⑧その他

問6 あなたは将来、どのような場所で生活したいと思いますか。

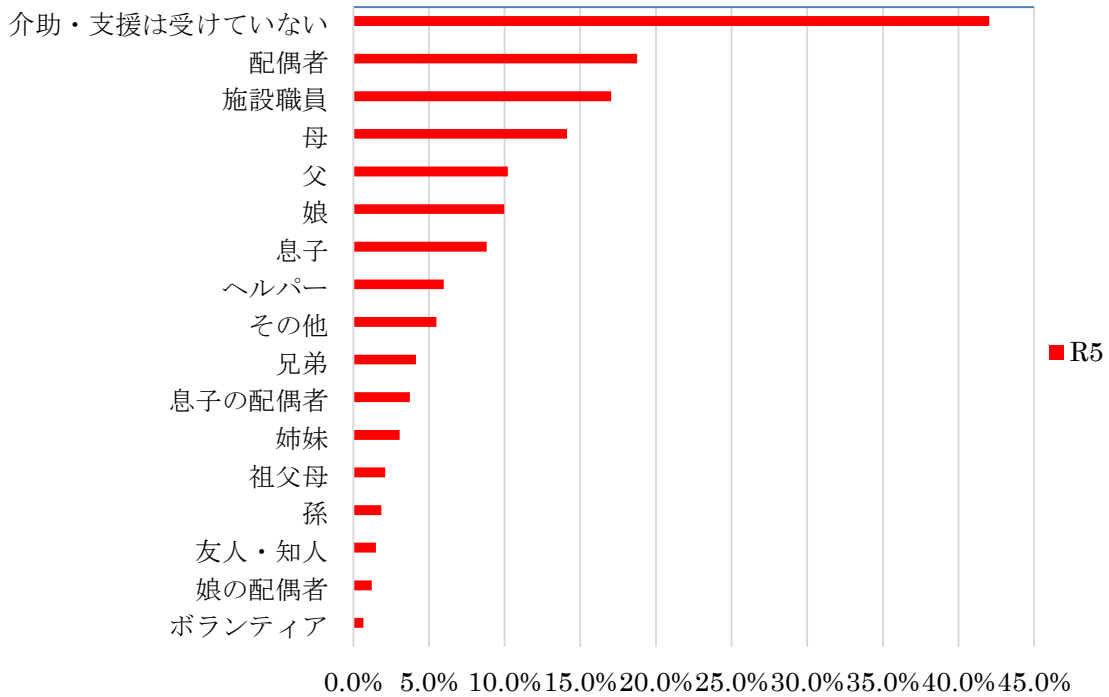


問7 あなたが現在一緒に住んでいる方はどなたですか。(複数回答)

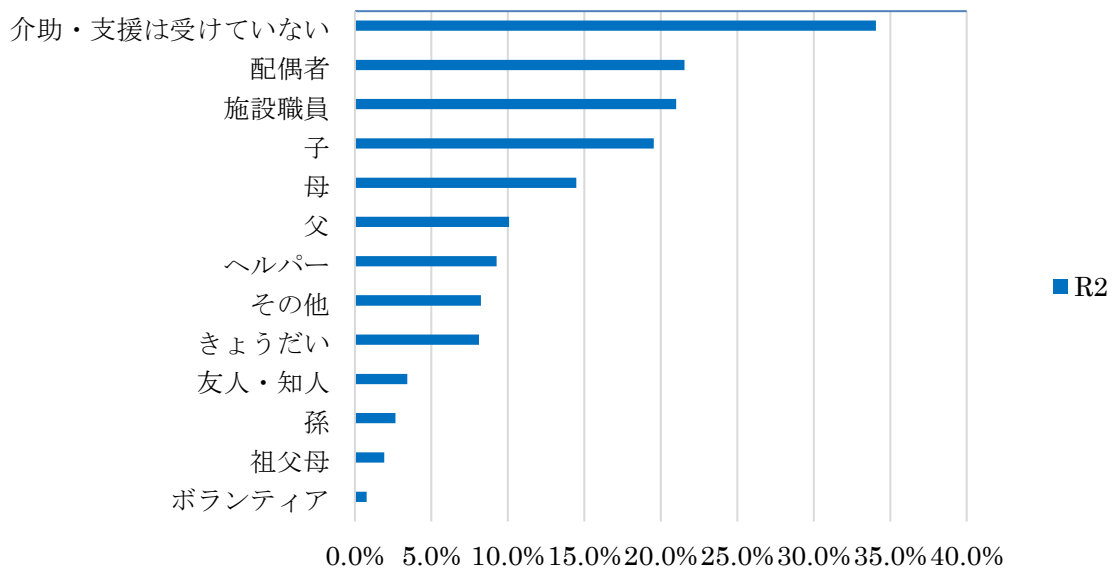


問8 あなたは普段の生活で誰から介助・支援を受けていますか。(複数回答)

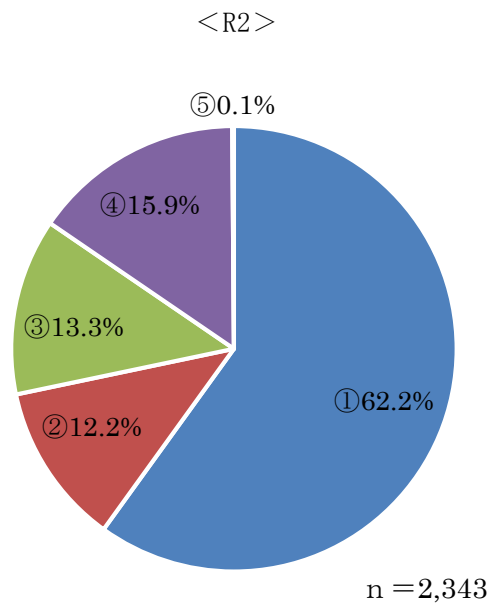
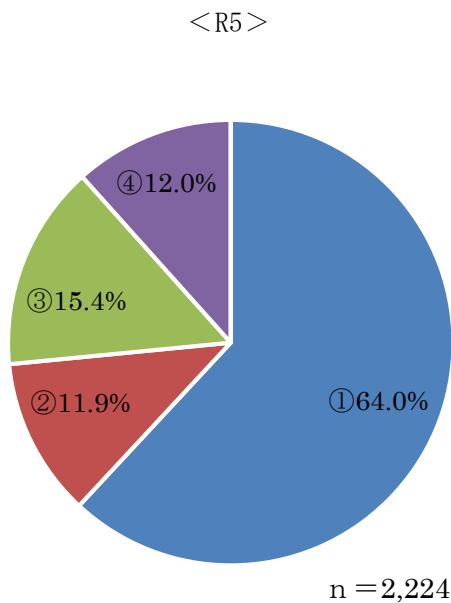
<R5>



<R2>



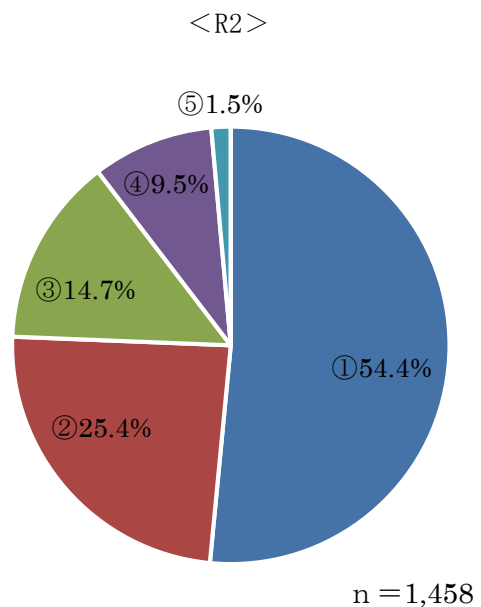
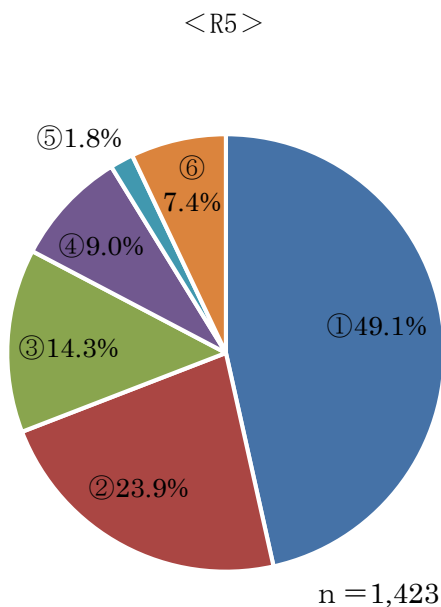
問9 あなたがお持ちの手帳の種類と等級について教えてください。(複数回答)



- ①身体障害者手帳
- ②療育手帳
- ③精神障害者保健福祉手帳

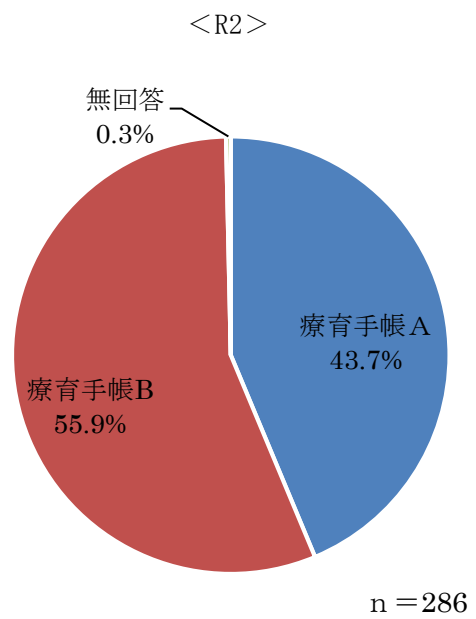
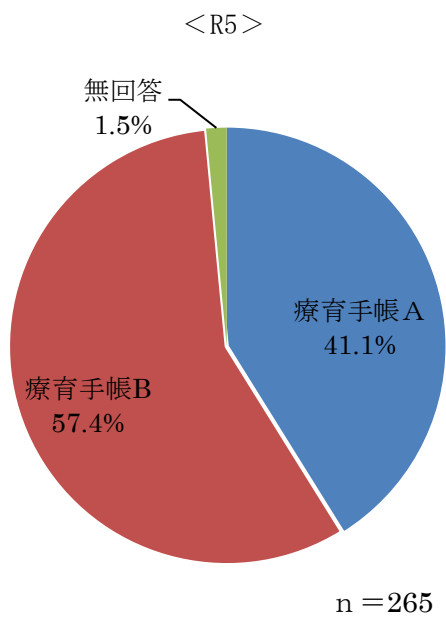
- ④手帳は持っていない
- ⑤無回答

(身体障害者手帳の内訳)

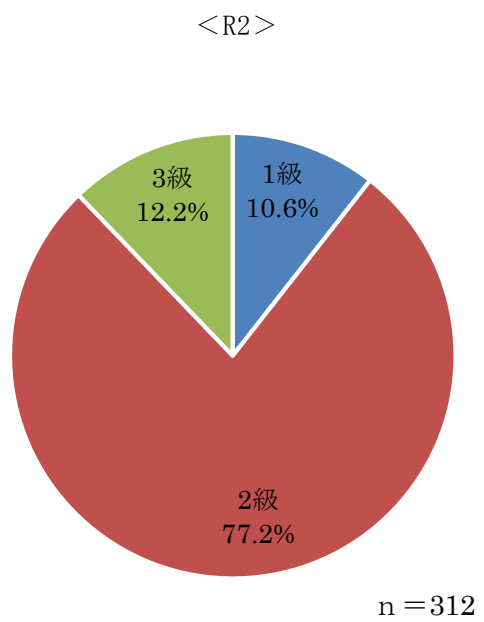
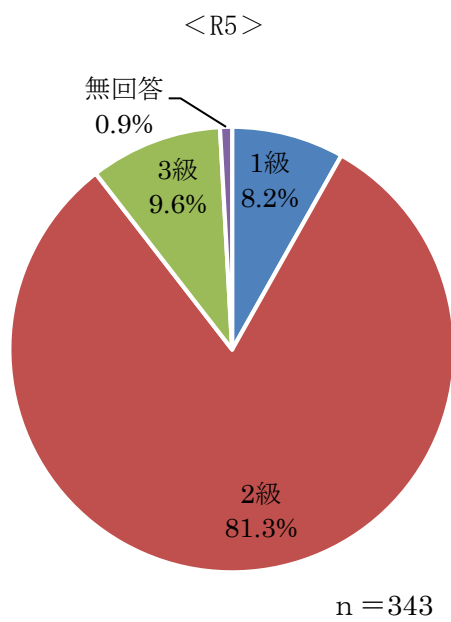


- ①肢体不自由
- ②内部障がい
- ③視覚障がい
- ④聴覚または平衡機能障がい
- ⑤音声・言語・そしゃく機能障がい
- ⑥無回答

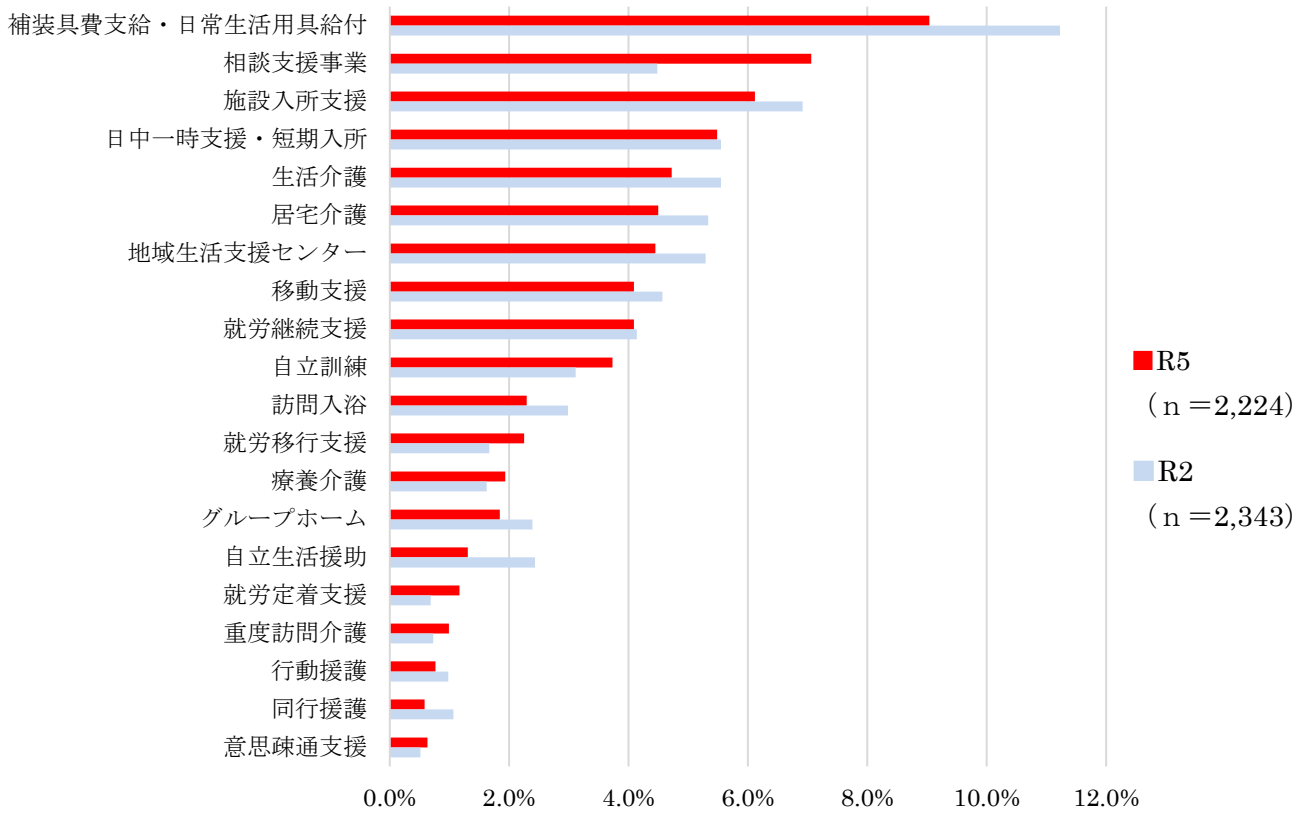
(療育手帳の内訳)



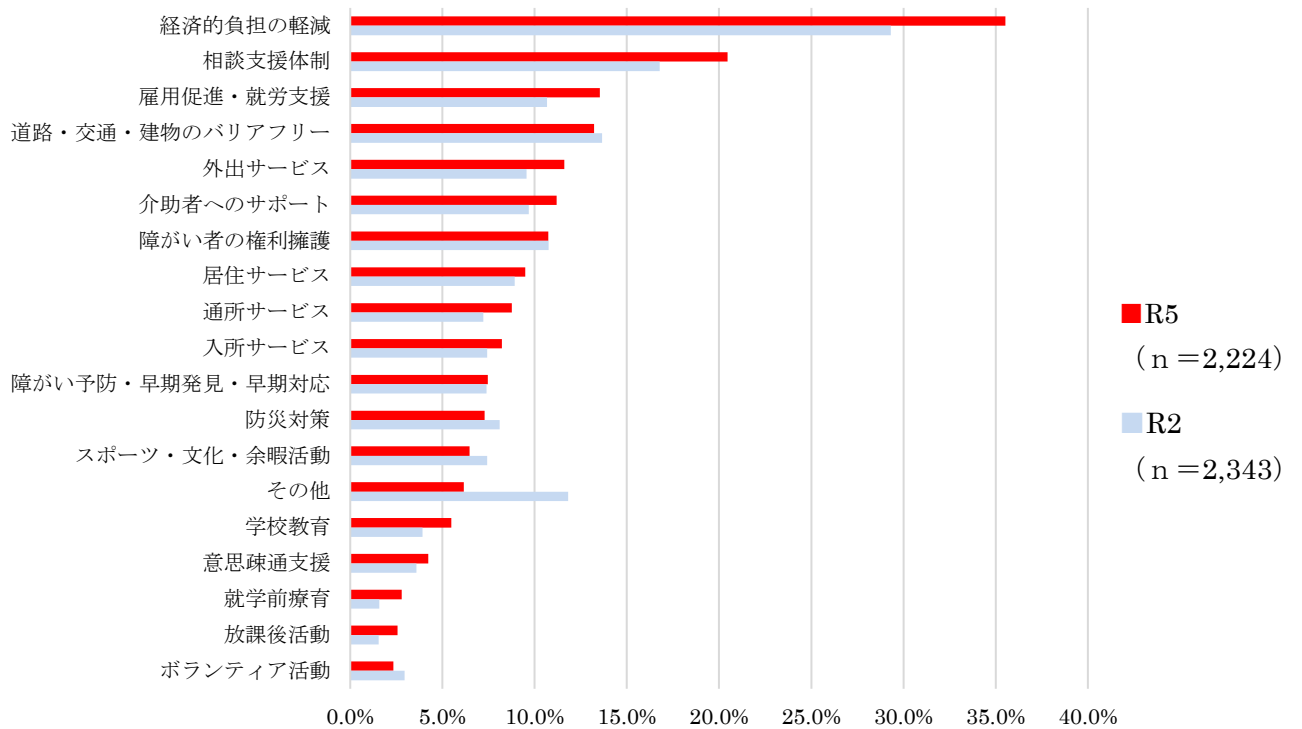
(精神障害者保健福祉手帳の内訳)



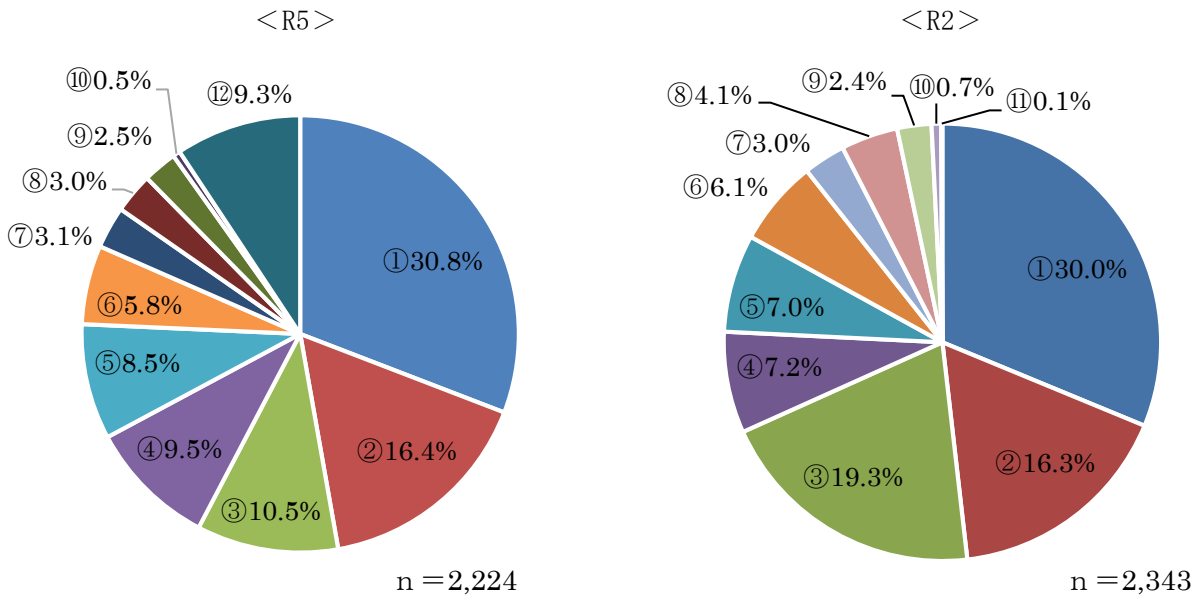
問 10 あなたが現在利用している福祉サービスは何ですか。(複数回答)



問 11 新潟市の障がい福祉施策の中で、あなた自身をもっと良くしてほしいと思うことはありますか。(複数回答)

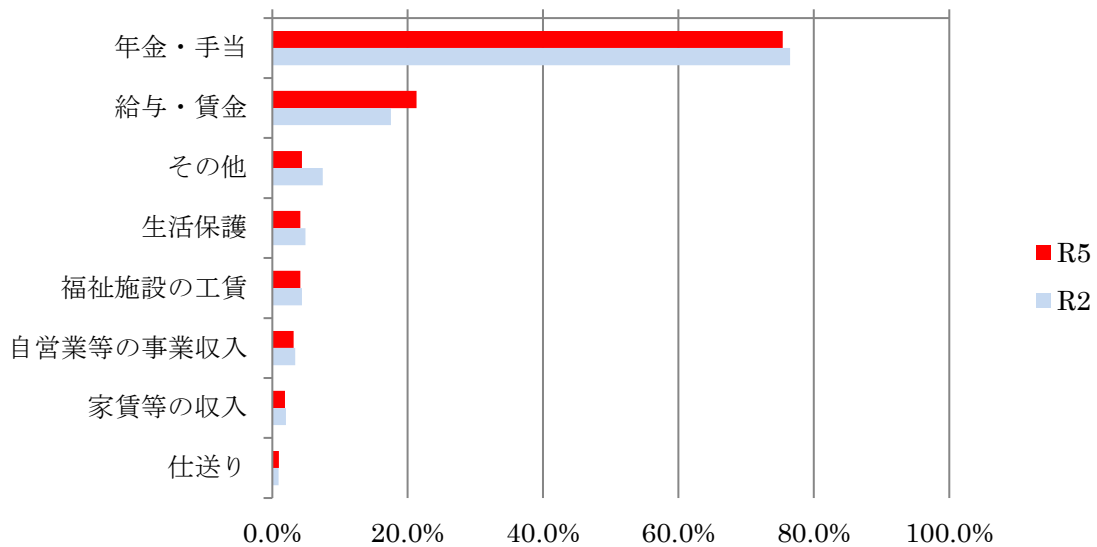


問 12 あなたは普段、平日の昼間をおもにどのようにして過ごしていますか。

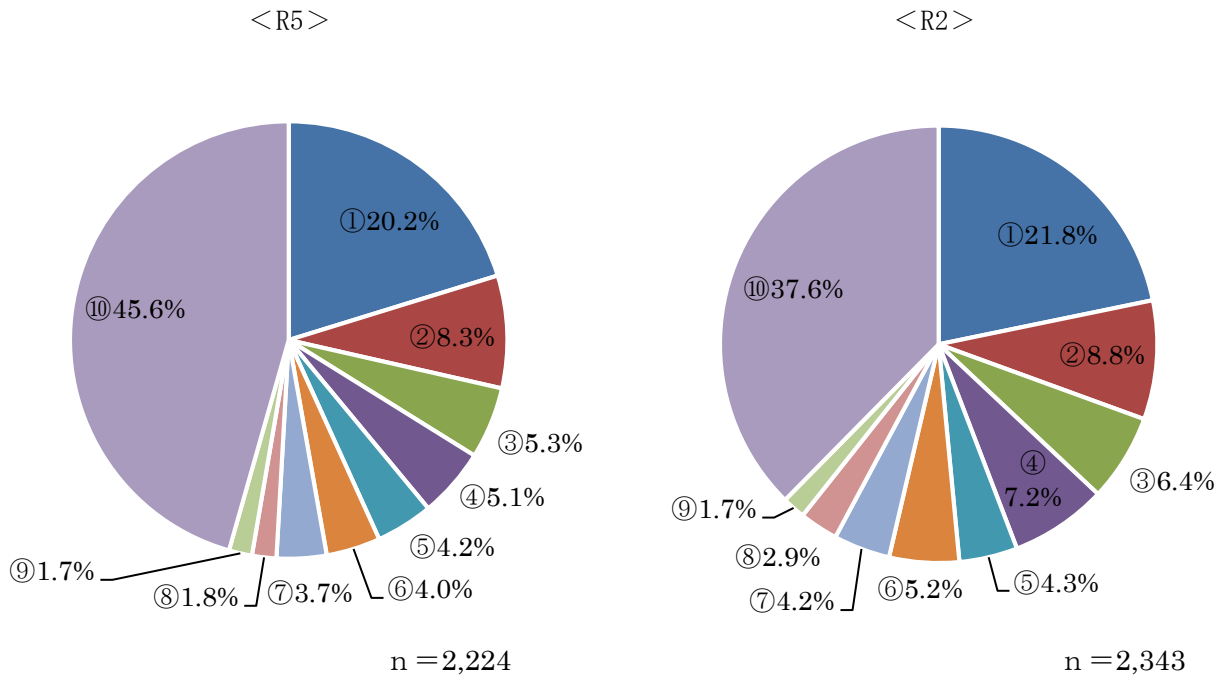


- ① 特に何もしていない
- ② 自宅で家事手伝い
- ③ その他
- ④ 正規雇用の社員・職員として働く
- ⑤ パートやアルバイトなど非正規雇用の社員・職員として働く
- ⑥ 就労支援施設
- ⑦ 教育機関で学ぶ
- ⑧ 就労支援施設以外の施設
- ⑨ 自宅で収入のある仕事
- ⑩ 就職活動
- ⑪ 職業訓練
- ⑫ 無回答

問 13 あなたが得ている収入源は次のうちのどれでしょうか。(複数回答)

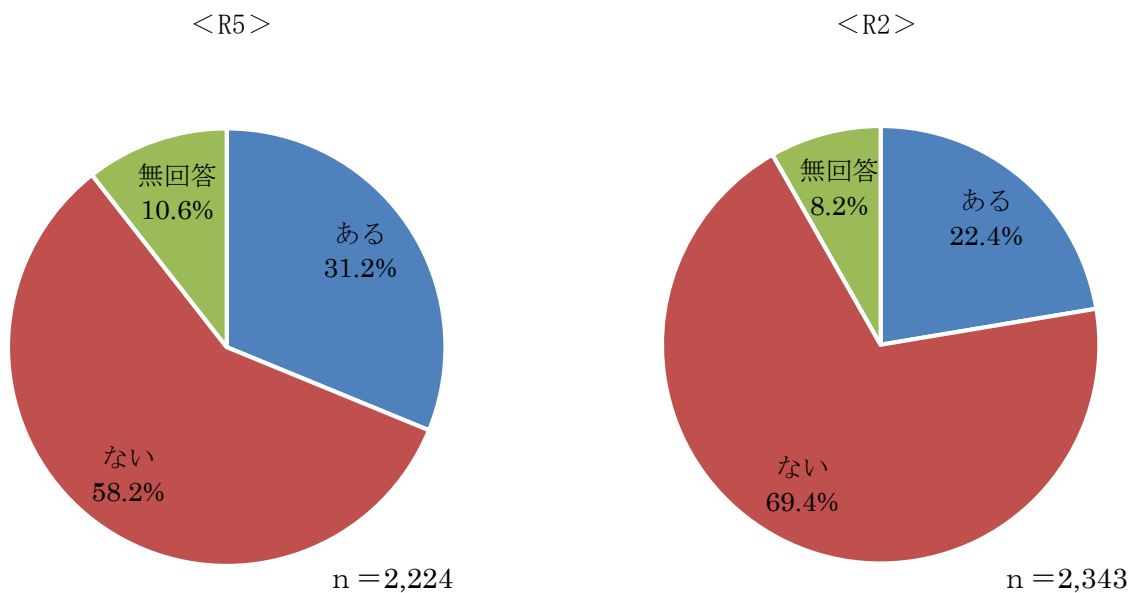


問 14 あなたが今お住まいの地域で安心して生活していくために必要なことはありますか。

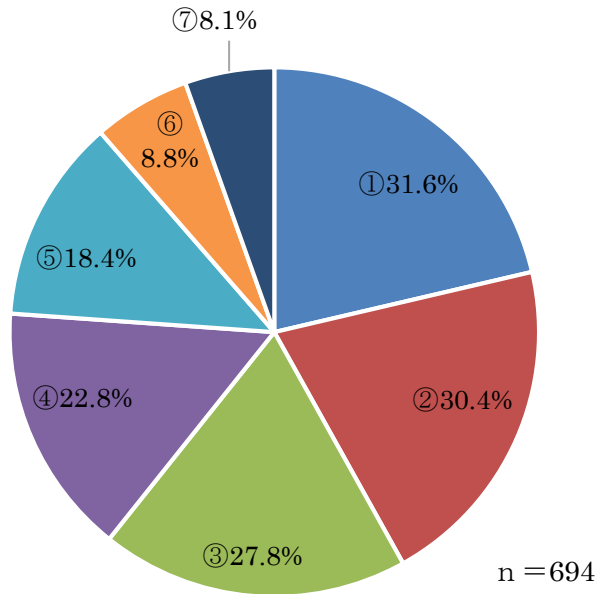


- ① 困った時に相談できる場所
- ⑥ ホームヘルパー
- ② 気軽に通える場所
- ⑦ 短期入所 (ショートステイ)
- ③ 働く場所
- ⑧ グループホーム
- ④ その他
- ⑨ 通所事業所
- ⑤ ガイドヘルパー (外出時の支援)
- ⑩ 無回答

問 15 あなたは障がいを理由として偏見や差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがありますか。

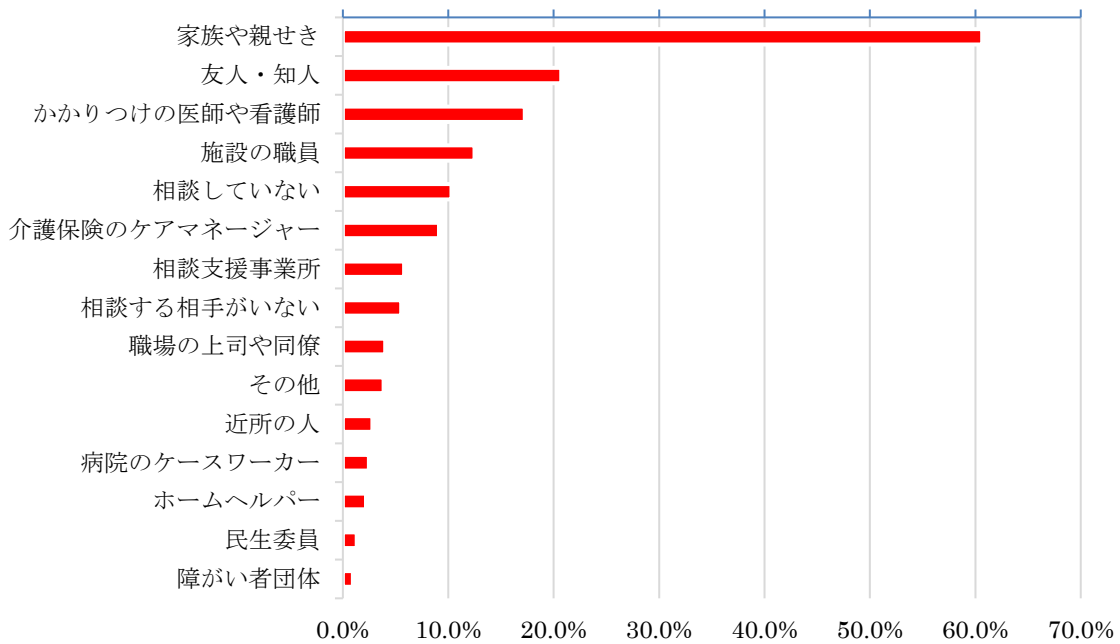


具体的にどのような場面ですか。

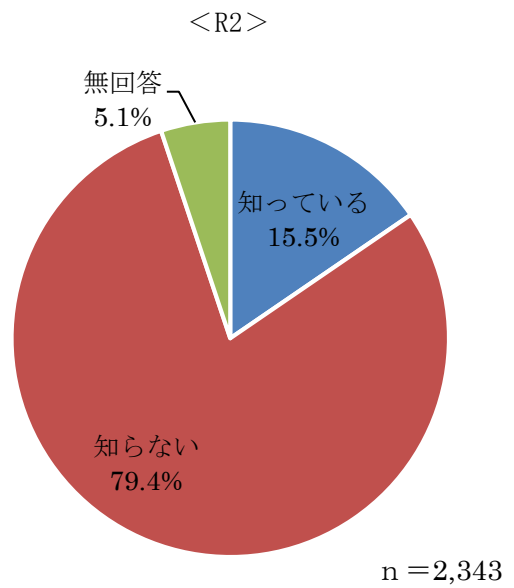
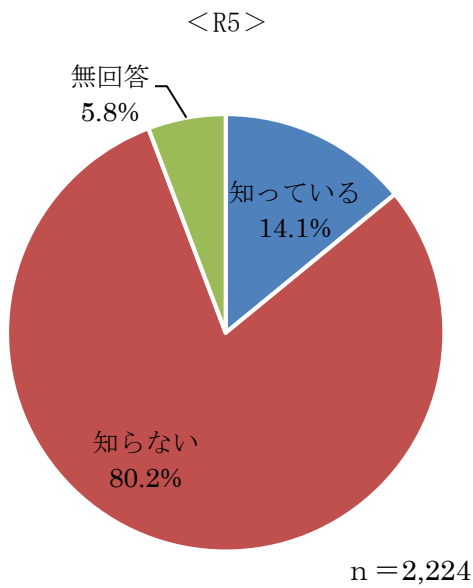


- ①雇用
- ②交通機関利用
- ③商業施設利用
- ④教育
- ⑤その他
- ⑥スポーツ
- ⑦無回答

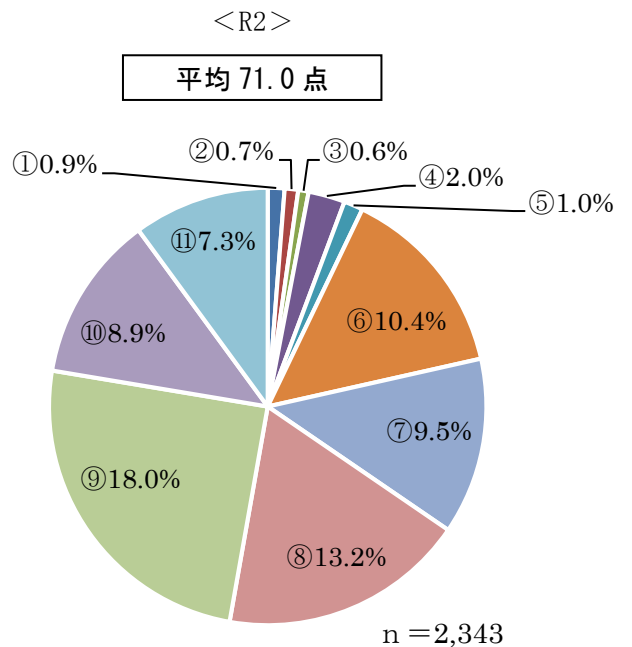
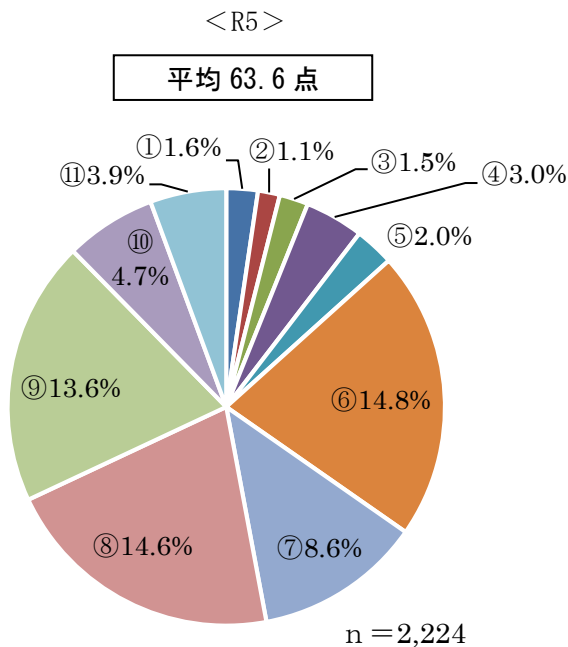
問 16 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(複数回答)



問 17 「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」の認知度



問 18 新潟市の今の障がい福祉に関する取組について、あなたの満足度を 100 点満点であらわすと何点になるでしょうか。



- ① 0～ 9 点 ②10～19 点 ③20～29 点 ④30～39 点 ⑤40～49 点 ⑥50～59 点
 ⑦60～69 点 ⑧70～79 点 ⑨80～89 点 ⑩90～99 点 ⑪100 点

問 19 あなたが普段の生活で困っていることや利用している福祉サービスで不便に感じていることがありましたら記入してください。

自由意見の回答より抜粋して掲載 (n=879)

障がい種別	年齢別	問 19 自由記述
身体	30～39 歳	障がいがあるのに、配慮してもらえない (雇用の場で) 他の方と同じ仕事のやり方を求められる。雇用者側からの配慮があってもよいと思う。
身体	30～39 歳	「障害児」への支援がヒットしても「障害を持つ親」への支援に関する情報はほとんどなく、せめて情報だけでもほしいと思いました。
身体	30～39 歳	ヘルパー、移動支援など、とにかく人手がない。緊急な病院などには事前予約が基本なので対応できない。外出困難者なのに福祉サービス利用のために外出が必要なこと。
身体	40～49 歳	外出した際に車椅子で利用できるトイレが近くにあるかどうかが非常に重要です。こういったことを気にせず出掛けられるような街になってほしいです。
身体	40～49 歳	相談できる所が分かりやすくあると良いかと思います。
身体	40～49 歳	交通機関や生活環境は障がいを持っているとまだ暮らしやすいとは言えないと思います。
身体	40～49 歳	福祉サービス自体がわからない。相談しにくい感じがあり、福祉サービスを利用しにくい。
身体	50～59 歳	障がい者認定後の経過具合のアフターケアがあると良いと思う。ずっと同レベルの障がいで年を重ねるわけではないので認定時の時より障がいが増える人もいる。
身体	60～69 歳	外見が他の人と変わらないため、障害者と認識されにくく、電車やバス、駐車場の利用時に足が痛くても、つい遠慮して我慢してしまう。
身体	60～69 歳	駅やスポーツ場、商業施設利用の際、トイレはまだ和式のところがあり、改善してほしい。
身体	60～69 歳	オストメイトのトイレを増やしてほしい。
身体	60～69 歳	目が見えないのは、他覚的に分かりにくいとは思いますが、公共交通機関やお店でももう少し理解が得られたらと感じる場面はある。
身体	60～69 歳	福祉の相談施設は有るが、相談の電話を受付ける場所が少なく、電話も通じない (話し中が多い)。話は聞いてもらえるが、今の所はこれ以上の協力は出来ない等、最後は自分が我慢するしかない。
身体	70～79 歳	今はありません。が、将来 1 人になったら (主人が死んだら) 暮らして行けるか (経済的) 心配です。
身体	70～79 歳	家族が急病等の時すぐに利用出来る施設があるとありがたいです。
身体	70～79 歳	家族は少なく、助けてくれる、頼れる親戚もいないので何かあった時に困る。
身体	70～79 歳	ご近所さまとの交流がほとんどなく、一人で四苦八苦しているところがある。気楽におしゃべりできる地域の環境が欲しい。
身体	70～79 歳	聴覚障害は相談するにも言葉のキャッチボールができないので正しく判断できずネットの情報にたよるばかりです。電話ができず、予約はいつもすべて FAX です。福祉サービスも情報があまりなく福祉のネットサービスを強化充実させて頂くとうれしいのですが・・・。
身体	80～89 歳	介護施設に入所時即時入居できる態制が整えられるとありがたい。他界してからでは遅すぎます。175 名の待機人がいる様では何年後の入所になるのでしょうか？

障がい種別	年齢別	問 19 自由記述
身体	80～89 歳	現在は医療補助のみで介護支援は受けてないが、将来配偶者、自身が援助を必要になった場合、経済的な不安がある。
療育	0～9 歳	移動支援をもう少し気軽に使えるようにして欲しい。就学前までしか利用出来ない療育が多いので、就学後も利用出来る療育を増やして欲しい。障がいの特徴別に療育を受けられるようにして欲しい。障がいを持った子が安心して遊べる公園等を使って欲しい。(利用料が発生しても良いです!!)
療育	0～9 歳	新潟市は、幼児期から利用できる、療育施設が少なく、選択肢がとても少なかったので今後拡充して欲しいです。同じく療育園も少ないので就園時に困りました。児童の利用が終わると、次は放デイの利用となると思いますが、空きがないとよく耳にします。障害のある子どもたちが、社会へと歩んでいけるよう、児童発達支援施設の拡充、早期療育、放課後デイサービスの拡充、療育園の充実などご検討いただけますとありがたいです。障害に対する理解が、大人も子どもも広がってインクルーシブ教育が実現して欲しいです。公共施設で、大きな声が出てしまったり、落ち着かなくなると、周囲の目が気になります。こういう子もいる、こんな障害もあるなど社会に発信したり、各区の事業として障害に目を向けた相談会など本人だけではなくその家族の支援も視野に入れて考えて欲しいです。
療育	0～9 歳	学童期の事業所はかなり増えたイメージがありますが、成人後の居場所はまだまだ少ないように感じます。一番の心配は親なき後の子どもの居場所です。グループホーム等の施設、就労支援等の施設が増えてくれるといいです。
療育	0～9 歳	障害のある子の親の大変さが理解されておらず、PTAなどの役員をおしつけられたり、仕事につくのがとても、難しく、とても悲しく辛い。
療育	0～9 歳	全ての福祉サービスを利用し、理解しているわけではないですが、子どもの様子を見てもらいながら相談できる場所があればな、と思う時はあります。
療育	0～9 歳	放課後等デイサービスを利用したいが、いつも問い合わせると「空きがない」と言われる。施設側の都合や定員もあると思うけど、本当に利用したい人が利用できないのは不便だと感じる。
療育	0～9 歳	本人は今、支援学級に通い、放課後等デイサービスを利用しています。正直、将来の展望がみえません。近くに似たような方が居ないのでどのような進路があるのかも分かりません。事業所の方も1年毎に変わってしまい、その方の温度差なども気になります。長い目で親と一緒に寄りそっていただける機関や人と出会いたいです。
療育	10～19 歳	今は親は元気なので対応できてるが、高齢になったり病気になったら難しくなるので、移動支援や入居施設が増えて、待機や選択できない事がないような状況になるといいと思います。
療育	10～19 歳	介護している家族に用事や急病があった時に介助してくれる人がいない。とても困ります。家族に何かあった時に、介助してくれる人、場所があるといいです。前もって予約等しないとなので、急に何かあった時、困ってます。
療育	10～19 歳	今年3月に特別支援学校を卒業し、現在は就労継続支援 B 型を利用しているが、それまで利用していた放課後等デイサービスの利用ができなくなり、戸惑った様子がありました。18 才以降もそれまで利用していた施設のフォローアップを受けられるようなサービスがあると、本人も安心して過ごせるのではないかと感じています。
療育	10～19 歳	母親が働きづらい。放デイも利用しているが長期休暇中は退所時刻が早まったり、延長申請も使いづらい。また移動支援も皆利用したい時間帯がかぶるのでなかなか利用できない。

障がい種別	年齢別	問 19 自由記述
療育	20～29 歳	今現在よりも親である私たちが、世話が出来なくなった時にスムーズに施設なりに入り生活する場所がほしいです。
療育	20～29 歳	家族も仕事があるため、本人が今後病院での入院などがあると、昼間のサポートができるか心配。
療育	30～39 歳	移動支援を利用しています。1ヶ月程前に予約を入れてサービスを受ける日時を決め連絡を受けてお願いしていますが、当然、事業所等の人員の関係もあり、急にこの日にお願いしたいと思っても（それは無理だとわかっている）できるはずもなく…。もっと気軽に頼めるようなサービスがあったらいいなと思うことはあります。
療育	30～39 歳	普段困っていることは、今のところないですが、将来親や家族がいなくなった時、どう暮らしていけばいいのか、など、これからのことが心配です。
療育	40～49 歳	今親と生活しているが親も高齢になるのに重度を受け入れるグループホームがない、入所施設も空きがない状態、不安です。安心して過ごせる終の住処がほしい。
療育	50～59 歳	現在のところは特にはないが、将来親や兄弟が亡くなった時に安心して暮らせ困らないようにしてほしい。
精神	20～29 歳	企業が障がい者雇用を引き受ける場合、何の知識もないまま、ただ引き受けているように見える。障がいに対しての理解がない雇用は続かない。企業が勉強する制度があればいいのと思う。自主的に勉強はしてくれないと思うので。
精神	20～29 歳	人との会話や、文書の作成が苦手(作文や感想などの明確な答えのないもの)精神障がいを持っていることや悩みを人に話しづらいこと。
精神	20～29 歳	福祉サービス自体に明確な不満はないが、障害に対する社会の理解度に対し虚ろな思いを抱えてしまうことがある。心体も精神も、いつ自分が当事者になるかは本当はわからない。だが、障害と関わる機会が無ければ、そもそもそれを自発的に知ろうとすることは確率的に低い。中途半端な理解はかえって偏見を生んでしまう。そのことに対し、制度的な差別が解消されても理解の壁、見えない偏見は残ると思う。そもそも障害とは何か。例えば眼鏡をかけている人は障害はないのか？社会的に何を障害と規定しているのかなど。今関わりの無い人たちにも少しでもいいから考えてもらいたい。
精神	30～39 歳	精神障がいは、目に見えないものなので、理解が得られにくく、生きづらさを感じています。しかし、昔に比べ、精神障がい者を支援してくれる動きもありますので、非常に感謝しております。本当に助かっております。
精神	30～39 歳	働いていると障がいの特性を忘れられてしまいキャパシティを越えた仕事をまかされてしまうという状況が多く身体と心が負担になりがちです。
精神	30～39 歳	私は将来的にピアスタッフとして、支援に携わる当事者として働きたいと思っていますが、新潟県は全国に比べてピアスタッフの雇用率が低く、十分な雇用体制が確立していません。当事者支援にはピアスタッフの力がとても有効であることを新潟県全体に広め、ピアスタッフ雇用・定着支援体制の充実を図っていただきたいと思ひます。
精神	40～49 歳	電車など、目に見えない障害者が、障害（優先席など）じゃないのに座っている、利用していると言われる事が多々ある。

障がい種別	年齢別	問 19 自由記述
精神	40～49 歳	息子がいわゆるグレーゾーンで、何の支援も受けることができなかつたように思う。今は療育手帳を取得できたが、学習面において大変な困り感を持っている。しかし、軽度知的障がい者に対する教育の場（塾）を探そうにもなかなか選択肢がなく、（見つけれられていないのかもしれないが）進学は諦めるしかないような気がしている。→息子は大学進学を希望しているため、同じような子どもは少数なのは分かるが、通常の塾ではまるでついていけず、個別指導でも、障がい（特性）を理解できる講師に出会えていない。
精神	50～59 歳	障がいのある子どもをどうしてやったら良いのか介護する側がどうしたらいいのか相談できるところの情報・場所などがわからない。実際あるのかどうか、わからない。自分の子は発達障害です。見た目は普通なので何がベストであるか困ってます。
精神	70～79 歳	障害者が就労できる場所をもう少し広く、多く、企業に働きかけ、スムーズに就労が実現できるように頑張ってもらいたい。
精神	70～79 歳	本人が意思決定できない時、一般的にどんな選択をしたらよいか、ケースによって相談できる専門家がいて、オンラインでもよいので相談日を設けてもらったら助かるかもしれません。
発達	20～29 歳	今はそれほど感じていませんが就学時の体制をもっと充実させてください。今後の子どもたちのために。
発達	30～39 歳	医師に自分のことを上手く伝えられなかったり、適当な診察をされるため治療が上手くできてないと感じる。通院同行して医師に今の自分の状態と一緒に話してくれたり理解してくれるサービスがあるとありがたい。
発達	40～49 歳	障害者のためのトレーニングする場所が少なすぎる。バスなど交通手段がない。
発達	50～59 歳	孤独、孤立対策にもう少し注目が集まれば良いかと、日ごろから思っています。
発達	60～69 歳	大人の発達障害について、もっと気軽に相談できる場所や同じ悩みを持つ方との情報交換ができる機会の拡充と専門の病院の拡充をもっと図ってほしい。
難病	20～29 歳	車イスの人が外出するにあたって歩道の幅が狭くて車道を通る事になる（ベビーカーも一緒）散歩も出来ない。放課後デイがたくさんあるのに通所をしている者は夕方まで預かる施設がない。よろしくをお願いします。
難病	20～29 歳	内部障がいのため、一見健康な方と同じように見える。そのために配慮が必要ないと思われることが多い。
難病	40～49 歳	体調に波があり、以前仕事をしていた時にも体調の悪化で体力的に大変だった。コントロールしながらの仕事は職種に限られる。障がいの軽い人でも障がい者枠で就職できたらとても助かる。
難病	40～49 歳	難病をいくつも患い、治療で通院回数が多いため、フルタイムでの勤務に不安がある。障害者手帳がないため、障害者枠が利用できない。今の仕事（パート）から転職したいと思っているが、どうすればいいか悩んでいる。HP（ネットで検索）がわかりづらいので、情報をまとめきれない。自分なりに調べて再就職に向けて頑張っているところです。
難病	50～59 歳	デイケアやデイサービスの話を聞くと高齢者向けの内容だと感じ躊躇してしまう。指定難病も持っており、いくつかの持病の治療のための通院も自分で車を運転できない現状のため、不便を感じるが多い。障害者手帳を持っていないでも使えるタクシー割引券などがあるとありがたい。

障がい種別	年齢別	問 19 自由記述
難病	50～59 歳	福祉サービスの従業者の待遇改善が十分に行なわれないと、サービスの継続が難しくなります。将来も安定したサービスを提供できるよう、福祉政策の充実が必要です。
難病	70～79 歳	今はまだ、それ程必要と感じないけど、もう少し年齢がいったら歩いて、皆んなで、会って、お話しができる場所がほしいですね。一人一人が孤独にならず、気軽に行ける所があった方がいいと思う。
難病	70～79 歳	病気をよく理解していない上司と同僚により勤務先から免職させられた経験があります。病気を理解してもらう啓蒙活動が重要ではないでしょうか。